

2012年9月
1045号

百葉

Manyok

一冊の会 編集部

〒160-0015 東京都新宿区大京町5
(一冊の会研究室)

共生の新時代を開く雪香灯

2012年9月3日、太陽が燦と輝く空の下で世界初の「雪香灯」除幕式が相馬の地で行われました。

「雪香灯」は新しい蓄電池を使用した街路灯です。NPO 法人一冊の会の永久最高顧問・相馬雪香先生のお名前を冠したこの街路灯を、東日本大震災の“復興のシンボル”として雪香先生ゆかりの地・相馬市に贈呈させていただきました。

世紀の大災害といわれる 3.11 の大震災から 543 日が過ぎました。地震と津波と風評の被害を受けた相馬市では、まだ震災の爪跡も残る中、馬場野相馬井戸端長屋に日本で第1号となる災害公営住宅が建設されました。高台にあるこの長屋は、高齢者の孤独状態を防止する共同住宅です。共有スペース・個別スペースが用意された平屋造りの大変立派な住宅でした。この長屋のすぐそばに、立谷秀清・相馬市長の御英断により「雪香灯」を建設させていただくことができました。立谷市長の陣頭指揮の元、復興に向けて一致団結される相馬市に少しでも明るい光をお届けできれば幸いです。

贈呈式には、佐藤憲男・相馬市副市長とレソト王国大使、一等書記官の奥様の御臨席を賜り、ご公務中の立谷市長からは直筆の御礼状を頂戴いたしました。篤く御礼申し上げます。式の当日は現地の方も驚く暑さ、気温 35 度に達する中、遠くは北海道・九州から、地元の東北地方は元より、青森・新潟・山形・東京・浜松と全国から 60 数名が駆け参じてくださいました。有り難うございます。また、この「雪香灯」の建立に温かい御心と並々ならぬ御配慮を頂きました相馬和胤様に篤く御礼申し上げます。

今年は相馬雪香先生生誕 100 周年です。生涯を社会貢献に捧げられた雪香先生の教えに従い、一冊の会のメンバーも、震災の痛手から立ち上がろうと懸命に闘っていらっしゃる被災者の皆さまに心を寄り添い、今日まで大槻会長と小山理事長は 46 回東北 3 県へ支援物資を届けて参りました。10 月末には 50 回を超えるプランも出来ています。

震災直後は目を覆いたくなるような惨状であった被災地も、被災者の皆さまが懸命に生きる努力をされて一歩ずつ復興が進んでおります。この「雪香灯」が再生の息吹となり、相馬から東北全土、日本全国へと明るい未来



【馬場野相馬井戸端長屋と雪香灯】

を手繰り寄せる希望の光となることを願っております。国際エネルギー年の今年、この「雪香灯」を皮切りにエネルギーの新時代がスタートします。その第一号の除幕式に参加で出来ましたことを大変嬉しく思います。今回の「雪香灯」のお披露目までは大変多くの皆さまのご協力を頂きました。

贈呈式の後、柚木応急仮設住宅集会所に場所を移し、UN Women さくら親善大使・カズンと NPO 法人一冊の会親善大使・DON ALMAS のミニコンサートを開催しました。被災者の皆さまと共に手を叩き、肩を寄せ合っの「みんなで作る音楽会」です。DON ALMAS がパワー溢れる癒しのハーモニーを奏でれば、カズンは会場全員を巻き込んでの大合唱です。集う全員に頑張る元気をくれる二組の音楽を身体に取込み、「感動とパワーの大爆発！私たちは生き抜く」の強い決意のこもった演会となりました。



【プロスパー・ポローニアの木、磯部小学校長と親善大使のメンバー】

第3部では、磯部小学校の復興記念植樹、レソト王国大使御手植えのプロスパー・ポローニア(桐)の木を拝見しました。プロスパー・ポローニアは5年で成木になるとも成長の早い桐の木です。震災からの早期復興と子ども達の健やかな成長を願い、昨年7月に相馬市の磯部小学校に植樹致しました。被災の苦難に懸命に立ち向かう子ども達と共に成長したプロスパー・ポローニア。たった30cm程だった苗木は、この夏で2.5mを超えました。磯部小学校では「この震災と仲間を忘れない」との思いから、3.11の震災で犠牲となった生徒達と先生の慰霊碑が建てられています。この碑を前に、復興再生への支援活動を一層たくましく続けて参りたいとの思いが湧き出て参りました。



【点灯した雪香灯】

昼間の式典参列者をジリジリと照りつけた灼熱の太陽が沈み、辺りもすっかり暗くなった頃、眩い光を放つ雪香灯が闇夜に浮かび上がりました。第一号の希望の光を目にする幸運に恵まれた方々から、続々と感激の声が届いております。

人類の英知が生み出した蓄電池を内蔵し、ソーラーパネルと風力発電により光を灯し続ける「雪香灯」。常に未来をみて行動されてきた相馬雪香先生の名を冠するにふさわしい街路灯です。多くの皆さまのご協力を頂いたおかげで、今日の贈呈となりました。雪香灯は、まさに絆の象徴でもあります。未来永劫、相馬の地を照らす雪香灯は、現代の私たちを暗い夜道から救ってくれるだけでなく、未来を照らし、明るく導いてくれる事でしょう。雪香灯が心の灯火となり、雪香灯の元で育った子ども達から未来の相馬市、未来の日本を担う人材が現れることを願っております。未来へと続く識字の光を繋げる為にも、今私達は何を為すべきかを考え、自ら行動して参ります。

※衆参議員をはじめ多くの皆さまからの御祝のメッセージ、心より御礼申し上げます。

文責:櫻華塾 グローリア部 瀧川紗智子